



すべての子どもが生きる力を
存分に発揮できる社会を目指して

エファジャパン年次報告書 2020

ご挨拶



日頃はエファジャパンに変わらぬご理解とご支援をいただき、心より感謝を申し上げます。またコロナ感染拡大が続く中、ご不自由な生活を余儀なくされている皆さまにお見舞い申し上げますとともに、各地域において感染者とその家族の健康を守るため、日々最前線で奮闘くださっている医療関係従事者や介護士、保育士、公的な手続きの世話をされている役所の方々に、暑中のお見舞いと深い感謝の意を表します。

自治労の国際貢献活動「アジア子どもの家」の事業を引き継ぎ、インドシナ三国（ラオス、カンボジア、ベトナム）で、子どもたちの未来を拓くための教育・福祉支援と緊急人道支援を行ってきたエファジャパンの活動は2020年に16年目を迎えました。昨年12月からは、パナソニック株式会社「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の助成のもと、組織基盤強化に向けた取り組みを開始、現在も理事会と事務局が一丸となり、エファジャパンの今後の道しるべとなる「中長期計画」の策定を進めています。

コロナ禍という未曾有の世界的危機は、特に貧困層や障害などを抱える弱い立場の人々をさらに厳しい状況に追い込んでいます。経済的な理由で学校に通えなくなったり、ストリートチルドレンにならざるを得ない子どもたちが、ラオス、カンボジア、ベトナムでも増えています。また日本でも、子どもの貧困や外国にルーツをもつ子どもたちが直面する課題が浮き彫りになってきています。

エファジャパンでは今後、これら課題の解決にも取り組んでいきたいと考えています。SDGsの「No one left behind（誰も取り残さない）」、エファジャパンの「すべての子どもが持っている力を存分に発揮できる社会づくり」に向け、共に生きる平和な社会の実現に貢献してまいります。

これまでの皆さまのご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご理解とお力添えを宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エファジャパン
理事長 伊藤 道雄

目次

ご挨拶	2	ベトナム	8
2020 年度活動ハイライト	3	国内事業	9 - 10
エファジャパンの組織	3	中長期計画と VMV	11
ラオス	4 - 5	会計資料	12 - 18
カンボジア	6 - 7		

2020 年度活動ハイライト

◆ ◆ ◆ 海外事業 ◆ ◆ ◆

・ラオス図書館事業

ビエンチャン都立図書館運営支援（自治労東海地区連絡協議会）、ラオス図書館協会支援などを行いました。
また自治労広島県本部による5カ年の4校の学校図書室支援を開始しました。

・カンボジア奨学金事業

プレアビヒア州で、優秀だが貧困の問題から中学校進級を諦めなければいけなかった中学生2人（岡山県関係職員労働組合連合）、国立幼稚園養成学校の訓練生14人（自治労九州地区連絡協議会）に奨学金支援を行いました。

・カンボジア児童保護施設支援・寺子屋教室支援

開発が最も遅れ、未だ小学校も整備されていない国境地域のプレアビヒア州等の子どもたち67人に住居、食事、教育機会の提供と子どもたち380人が通う寺子屋教室の運営を現地パートナー団体とおこないました。
（自治労熊本県本部・鹿児島県労働者福祉協議会・自治労福岡県本部・自治労岡山県本部）

・ベトナム障害児クラブ（教室）事業

ハイフォン市ソーシャルワークセンターと協働で2014年から開始した、ハイフォン市農村部1町6村の障害児クラブ支援事業を2019年度に終了。新型コロナウイルスパンデミックで現地パートナー団体との事業総括後協議は実施できず、2021年度に開催する計画です。

◆ ◆ ◆ 国内事業・その他 ◆ ◆ ◆

・Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs の助成対象団体に

2020年12月にパナソニック株式会社の「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」の助成対象団体に選定されました。2021年1月1日からの一年間、組織基盤強化に向けた活動を推進します。

エファジャパンの組織

支援者

会 員

正会員…126人
シニア会員…61人
賛助会員個人…33人
賛助会員団体…34団体

総会
(正会員で構成)

- ・エファパートナー（個人81、団体59）
- ・一般寄付者（個人、団体）
- ・事業指定寄付者（個人、団体）
（ベトナム、ラオス、カンボジア、書き損じハガキ・古本リサイクル募金、他）
- ・ボランティア
（事務局ボランティア、デザインボランティア、企業ボランティア）

理事会

理事長	伊藤	道雄
副理事長	川本	淳
理事	遠藤	幹夫
理事	大石	芳野
理事	鬼木	誠
理事	木下	究
理事	佐藤	千恵子
理事	杉谷	尚彦
理事	玉井	一匡
理事	中西	満
監事	榎本	朋子
監事	宮原	朝香

顧問

イーデス ハンソン

事務局

事務局長	関	尚士
経理・総務	高田	俊哉
海外事業	鎌倉	幸子
広報・ファンドレイジング	増村	康亮

2021年3月31日 時点

ラオス Laos

・支援が必要な背景

ラオスの多くの小中学校では図書館・図書室がなく、また設置されている数少ない図書館・図書室では、運営に課題があり使用されなくなるケースも少なくありません。また、ラオス全国の図書サービスの発展に寄与すべきラオス図書館協会の活動にも課題があります。

・支援の目標、目的

学校図書館・図書室の設置や運営支援を通し、より多くの子どもたちに本や様々な情報に接する機会を提供します。またラオス図書館協会を支援し、図書サービスの発展と地域での持続的な図書館・図書室運営に寄与します。

図書館事業

■ビエンチャン都立図書館

自治労東海地区連絡協議会（自治労東海地連）のご支援により、平日 16 時～18 時、土曜日 9 時～12 時の開館時間延長に伴う時間外手当を支給しました。放課後や仕事帰りに図書館に立ち寄り利用者が増加しています。特に中学生、高校生が放課後の自習や迎えに来る保護者との待ち合わせのために図書館を利用しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で 2020 年 4 月の 1 か月間、図書館が休館しましたが、その後は時間延長を含め、通常通り開館しています。新型コロナウイルス感染症の影響で 4 月は閉館していましたが、利用者数は月平均 1,601 人と、昨年同月の月平均 1,209 人よりも約 400 人増加しています。また、ビエンチャン都立図書館への図書や新聞など資料購入の支援も行いました。



ビエンチャン都立図書館

■ラオス図書館協会支援

2007 年に設立されたラオス図書館協会は、国内の図書館を代表する総合的な全国組織として、図書館の成長、発展に寄与する活動を展開しています。

2020 年 12 月 16 日から 18 日までの 3 日間、11 の公共図書館に勤務する 26 人の図書館員を対象とした「公共図書館における継続的な読書推進活動」に関する研修会を開催しました。この研修会では、公共図書館における図書館のマネジメント、資料の管理、本の修繕、子どもたちの読書への関心を高めるための読み聞かせなどの技術習得の時間が組まれました。ラオスでは図書館員同士の情報交換の機会がほとんどないため、研修会を通じて図書館員同士のつながりが生まれたことも効果として挙げられています。

ラオスでは、インターネットやスマートフォンの普及率が徐々に高まってきており、「情報」へのアクセスはこれまでよりは容易になってきています。IT の普及を公共図書館の図書サービスにどう生かしていくかについても一緒に検討を行っていきます。



ビエンチャン都立図書館



ビエンチャン都立図書館長とエファスタッフ

学校図書館・図書室事業



ナーオサン村小学校



ドンクワイ村小学校

■学校図書室事情

本の出版や流通が立ち遅れているラオスでは、読書をする文化が根付いていません。また、経済的な理由から本を購入する家庭はほとんどありません。ラオスの子どもたちにとって、教科書が唯一手にする本となっています。小学校に図書館・図書室を設置している学校もほとんどありません。設置したとしても、校長の理解や管理運営する教員に図書館運営、活動の知識や能力がないと開館されないケースも見られます。

■学校図書室支援

自治労広島県本部のご支援によりビエンチャン都サントン郡にあるナーサオナン村小学校、ナミエン村小学校、ケンモー村小学校、フェイトム村小学校の4校に図書室を設置しました。本棚や図書の配布はもちろん、運営を行う図書室担当の教員や校長を対象にした研修会を開催しました。円滑な図書室の運営をサポートするため、国立図書館、サントン郡教育局と一緒にモニタリングを実施し、図書室運営の進捗を確認するとともに、図書館担当教員が業務上抱える課題の解決のためにアドバイスを行いました。

元自治労組合員の方からいただいた遺贈により、2016年からファパン県、ビエンチャン県、ビエンチャン都にある25の小中学校に図書室を設置し、それ以前にエファが設置していた5つの図書室を含めた計30校に、図書の配布を行ってきました。2020年度は事業の最終年度として、合計5,738人の児童・生徒が通う30校の小学

校に図書の寄贈を行いました。

タトゥーン村小学校には、自治労新潟県本部のご支援により180冊の図書を配布しました。また、自治労青森県本部ご支援のドンクワイ村小学校には、図書114冊および運営に必要な備品、貧困家庭の子どもたちへの文房具を、自治労三重県本部ご支援のサンパンナ村小学校には、179冊の図書と文房具品を、自治労東海地連ご支援のナーハンケー村小学校には、174冊の図書、本棚および運営に必要な備品を寄贈しました。

現在支援を行っている小学校では、今後、海外からの支援がなくなっても自立的に運営ができるように、地域住民に協力金の依頼を始めました。タトゥーン村小学校では、各世帯より年間5,000Kip（約57円）の協力金を徴収し、2020年11月時点で集まった2,000,000Kip（約22,800円）で図書館の修繕や文房具の購入を行っています。



ナーハンケー小学校への寄贈図書の一部

ラオスの学校図書館・図書室は数が少なく、運営管理体制や活用面でも課題を抱えている場合があります。学校授業や地域での活用を含め、子どもたちそして地域の方々の学習やコミュニケーションの場として有効活用するためのスキルも支援していきます

カンボジア Cambodia

・支援が必要な背景

カンボジアでは著しい経済発展の影で、学校に行けない子どもの数がとりわけ都市部で増加しています。地方の教育環境は少しずつ改善してはいますが、公立小学校が遠すぎて通学できない子どもたちが今も大勢います。貧困ゆえの家庭崩壊、そしてコロナによる様々は影響から、保護を必要とする子どもたちの存在も絶えず報告されています。

・支援の目標、目的

すべての子どもが教育を受けられるよう、僻地の村であるいは児童養護施設で、子ども達に教育を受ける権利を保障していきます。また学校教育だけでなく伝統文化や農業の活動を通じて、参加や発達の権利も保障していきます。

ノンフォーマル教育（寺子屋教室）運営支援

■国境地域の子どもの教育支援

カンボジア国内でも最も開発が遅れ、いまだに小学校がないプレアビヒア州チョークサーン郡の村で暮らす子どもたちに教育の機会を提供するために、イエン村、カンピン村、オータツケウ村、チェア村、ボスバウ村で寺子屋教室を運営しているパートナー団体の SCADP (Street Children and Development Program) と協働で教育支援活動を実施しています。現在 5 村の寺子屋では、小学校に通うことができない合計 380 人の子どもたちが学んでいます。自治労熊本県本部と連合・愛のカンパ助成金のご支援により、380 人の子どもたち全員に教材、文房具を寄贈、指導員、教員の給与の一部を補填しました。また新型コロナウイルス感染症予防のためのアルコールや医療品を配布。さらに、教育指導員が 5 つの寺子屋教室を訪問指導するタイミングに合わせ、各教室に配布した手洗いの方法を教えるポスターなどを利用して、新型コロナウイルス感染症予防のワークショップを行いました。子どもたちからは「家ではだれも新型コロナウイルス感染症の予防の方法知らないで、家に帰ったら家族に伝えたい」という声が上がりました。



感染症予防ワークショップ

■学童保育所支援

カンボジアでは農村部に押し寄せる急速な開発により、村を取り巻く環境が大きく変化を見せています。それまでメコン川の中州で行われる果樹栽培を生活の糧としてきたプノンペン市の郊外カンダール州バンティアイデック村では、多くの若い世代の人々が首都プノンペンや州内の工場で賃金労働者として働くようになりまし

た。2018 年度より、SCADP は「子ども達が日中に安心して過ごせる場所」の必要性の高まりから、バンティアイデック村学童保育所を設立しました。両親が仕事に行っている間、子どもたちが安全・安心して過ごし、集い、学べる場所となっています。そこで働く学童保育所のスタッフの給与を毎月支援しました。



■プレアビヒア奨学金基金

プレアビヒア州の農村部にはまだ中学校がない村が多く、小学校卒業後に中学校に進学するためには、高校がある郡の中心地や州都で下宿を見つけ、通学しなければならず、食費・生活費がかかります。そのため、子どもたちを中学校に進学させずに、家事や農作業の手伝いをさせるケースが見られます。

自治労岡山県関係職員労働組合連合（岡山県職連合）のご支援により、中学校のない辺境地域に暮らし、経済的な事情などにより、退学の危機にある学業が優秀な子どもの中から 1 名を奨学生に選定し、奨学金の支給を行いました。そして 2020 年度からは 2 人が選定され奨学金を受け取りました。彼らは、SCADP が運営する児童保護施設の寮で生活をしながら、スロアエム村中学校に通っています。

2020 年度に奨学生に選ばれたサンポアスさんは「好きな国語と算数の勉強が続けられ夢みたいです。家には

お金がないので、小学校を卒業したら家事を手伝いなさいと言われてきました。私の夢は叶わないと、あきらめていました。一生懸命勉強して、ここで暮らす人々を助けられる公務員になりたいです」と語ってくれました。

※ SCADP はカンボジアの市民団体で、Street Children Assistance and Development Programme の頭文字。2007 年度からエファジャパンのパートナー団体として共にカンボジアで事業を展開しています。



児童保護施設支援

2019 年のカンボジアの国内総生産（GDP）成長率は 7.0% と大変高くなりました。しかし、高い経済発展と並行して、首都プノンペンではストリートチルドレンの数が急増しています。その理由の一つとして、仕事を求めて地方から首都・プノンペンに出てきたのにも関わらず、定職につけないために子どもを育て続けることができなくなった保護者の存在があります。

SCADP では貧困や生活の困窮からくる虐待など、さまざまな理由で保護者と暮らすことができない子どもたち（プノンペン市 22 人、プレアビヒア州 45 人）を受けて入れ、住居や食事、教育の機会を提供しています。

2020 年度は 2 カ所の施設に、鹿児島県労働者福祉協議会（鹿児島県労福協）、自治労福岡県本部、自治労岡山県本部のご支援により、食料品、日用品、医療品など

の生活用品と学校に通うための制服、教科書、文房具を寄贈しました。また新型コロナウイルス感染症の影響で、児童保護施設の運営費をまかなっていた併設幼稚園が休園となり存続が危ぶまれましたが、2020 年 4 月 16 日から 8 月 31 日に新型コロナウイルス緊急支援募金の呼びかけを行ったところ、2,528,536 円が全国から寄せられ、運営を継続することができました。



カンボジア国立幼稚園教員養成校奨学金事業

現在カンボジア政府は、一村一小学校の政策の下で、各村に小学校建設を急ピッチで進めています。同時に就学前教育の充実も意識し、これまでの公立幼稚園に加え、簡易幼稚園ともいえるコミュニティ幼稚園を各小学校内に設置する方針を取っています。しかし、有資格の幼稚園教員が決定的に不足しているのが現状です。

国立幼稚園教員養成学校（PSTTC）は、カンボジア国内で唯一の幼稚園教員養成学校で、現在 200 人の訓練生が学んでいます。地方から来る訓練生は敷地内の寮で寝泊まりをしながら学んでいます。PSTTC は、教員が不足している農村部出身の訓練生を優先的に受け入れています。しかし、首都プノンペンは経済発展により物価が上昇、発展から取り残されている農村部との間で経済格差が拡大しています。農村部の経済的に余裕がない世帯出身の訓練生がプノンペンで勉強し続けるために、自治労

九州地区連絡協議会（自治労九州地連）のご支援で奨学金を支給しています。①自身が孤児、②貧困地域出身、③親の収入が不安定あるいは収入がない、④慢性的な病気を抱えている訓練生を奨学生の条件としており、その基準に合わせて選ばれた 14 人の訓練生に奨学金が支給されました。



カンボジア事業の今後

児童保護施設の子どもたちは、中学卒業までは支援されるものの、16 歳以降は社会に出て労働に従事しなければなりません。彼らが自分の力で生活を向上させていけるよう、IT や情報活用を含めたライフスキルトレーニング、また障害を持つ子どもたちへの、教育支援にも取り組んでいきます。

ベトナム Viet Nam

- ・支援が必要な背景
海外からの投資を積極的に呼び込み経済発展を重視する一方で、ハイフォン市の福祉体制はまだ整備されておらず、特に政府による障害児支援は十分ではありません。
- ・支援の目標、目的
政府による十分な支援を受けられていない障害児や困難な状況下にある子ども達を支援し、子ども達の発達する権利の実現をめざします。

アジア子どもの家奨学金事業



1999 年より自治労栃木県本部がハイフォン市に 500 万円を委託し、その受取利子を運用して奨学金を提供しています。本奨学金基金はハイフォン市児童保護基金が管理し、経済的に貧しいながら、優秀な成績を収めている

る子どもたちに奨学金を支給しています。2020 年度は、77 人に一人当たり約 4,500 円の奨学金と記念品を贈呈しました。

ハイフォン市障害児支援事業

エファは、ハイフォン市ソーシャルワークセンターとともに、福祉サービスが行き届かないハイフォン市農村部の障害児たちが、社会に関わることで、心身ともに成長する機会を創設することを目的として、1 町 6 村の障害児クラブ支援を 2014 年 1 月に開始し、2019 年 2 月にすべての事業を終了しました。

2019 年度にまとめた 5 年間の事業総括では、それまで家族以外の他者と関わる機会が少なかった地域の障害児たちに、社会経験や自己実現の機会を提供することで、発達する権利を保障することにつながることができたこと、保護者に対しては、療育に関する経験交流の場を設けることで、地域での孤立を防ぐことができたことなどの成果が確認されました。

しかし一方で、地域行政の面では、福祉分野での専門性の向上や財源の確保など十分に達成することができなかったこと、ソーシャルワークの基本である多部門によ

るネットワーク構築に至らなかったことなどの課題も見られました。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で渡航制限が解除されず、残念ながらパートナー団体と協議の場を持つことができませんでした。



ベトナム事業の今後

2021 年度は、渡航の是非を見極めつつも、難しければオンライン会議等を活用して、ハイフォン市ソーシャルワークセンターに対し 2019 年度事業総括結果を改めて共有し、今後の事業継続の可能性について協議、結論を見出ししていく予定です。

国内事業

集会・イベント・緊急支援募金

■自治労第 93 回定期大会（2020 年 8 月 26 日・東京・自治労会館）

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、自治労第 93 回定期大会はウェブ開催による代表代議員会議となりました。例年エファジャパンも参加をしていましたが、今回は見合わせとなりました。

■6 月の第 2 土曜日に開催を予定していたエファジャパン主催イベント「多文化共生社会を目指して～日本に暮らすラオス人から学ぶ～」は、新型コロナの非常事態宣

言が行われたことにともない中止となりました。

■4 月 16 日から「【緊急アピール】新型コロナウイルス緊急支援募金 - カンボジア児童保護施設支援のお願い -」の呼びかけを開始、8 月末までの募金キャンペーン期間に、個人、団体の皆さまから、総額 250 万円を越えるご支援をいただきました。頂戴した「寄付」は順次、カンボジアの児童保護施設の子どもたちのために送金、それにより同施設の運営を維持、継続することができました。

身近なことのできる国際協力

■新たに「使用済み切手」の収集を開始しました

エファジャパンでは、“身近なことのできる国際協力”として「書き損じハガキ」と「古本募金」によるご支援をお願いしてきましたが、それに加え 2020 年度からは「使用済み切手」の収集を開始、より多くのご支援者さまの思いを、支援国の子どもたちに届ける取組みを始めました。

■モットイナイ！寄付 3 点セット

「書き損じハガキ」「古本募金」、そして「使用済み切手」によるご寄付を「モットイナイ！寄付 3 点セット」として周知、ご支援をお願いしました。

■子どもたちの教育と生活改善のための支援に

2020 年度も、個人、団体、企業、自治労県本部・単組などの多くの方々にご協力をいただき、改めて深く感謝を申し上げます。また回収箱を新たに設置し、身近な人たちと取り組みたいとお問合せも増えています。頂戴した「書き損じハガキ」「使用済み切手」「古本」はそれぞれ換金し、カンボジア、ラオス、ベトナムでの児童保護施設や寺子屋教室の運営、公立小学校への図書室の設置や運営技術の改善、障害児の福祉支援活動など、困難な状況におかれた子どもたちに安心な居場所と学びの機会を届ける活動に役立てています。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

エファは、SDGs の達成に向け行動します。



国内事業

ボランティア

毎月1回、最終木曜日にエファジャパンボランティアデー（エファボラ）を実施しています。発送物の準備、エファグッズの梱包・値札付けや在庫確認、書き損じハガキのカウントなど、月の作業をまとめてボランティアのみなさんにお手伝いいただいています。2020年度は、

4月7日に7都府県に新型コロナの非常事態宣言が行われたことにともない一時休止としました。一方で、これまで参加いただいていた方からは、再開を楽しんでいますとの声をいただき改めて、日頃の皆さまのご支援に深く感謝を申し上げます。

広報・その他

■広報誌『えんぱわ』の発行

年4回発行（8000部）

第57号～第61号を発行、エファジャパン会員他支援者のみなさま、関係者、自治労各組織へ送付するほか、全国のボランティアセンター、自治体国際化協会へ配布しています。

■メールマガジン『エファ通信』の発行・発信

毎月1回の発行・発信

200号～211号を、パートナーその他ご希望の方に発行しています。また今年度第4四半期からは、ウェブメール化に向けた準備作業を開始しました。約3カ月間の移行期間を経て、より多彩な情報を

＜特集＞

第57号「支援国の子どもたちの今」

第58号「今こそ助け合うという関係を考える」

第59号「本が子どもの未来を拓く」

第60号「コロナ時代の国際協力について考えよう」

お届けできる「エファ通信」にリニューアルします。なおバックナンバーはエファジャパンHPにも掲載していきます。配信の登録は事務局まで、配信停止はメールマガジン内からお手続きいただけます。

■団体ホームページ、公式SNSの運用

エファジャパンでは、公式ホームページのほか、Facebookページ、Youtubeページを開設しています。カンボジア、ラオス、ベトナムでの支援活動や子どもたちの様子、イベントやその時々の特ピックをお伝えしています。来年度

は、公式ホームページのリニューアルも予定しています。スマートフォンからのアクセスの主流化に合わせ、情報発信やコミュニケーションの適時性や質、量の向上を目指しています。

■ネット募金

2020年3月にSyncable（シンカブル）にエファジャパンの団体ページを開催しました。募金キャンペーンやクラウドファンディングなどのご案内ができるようになったことに加え、クレジットカードを利用した、単発のご寄付やご支援が可能になりました。また、ユーザーが支援

したい団体や企画を指定して募金を募るドネーションキャンペーン（パースデイドネーション）の立ち上げができるなど、楽しみながらご支援いただける寄付メニューが増えました。これまで通りYahoo! ネット募金にも団体ページを掲載しています。

■自治労通信広告掲載

自治労中央本部が発行している自治労通信（夏号・冬号）に裏面広告を掲載していただきました。また可能な場合に

は、自治労関連施設において「身近にできる国際協力」などの紹介ポスターを掲出いただいています。

エファ中長期計画 2022 > 2026 策定と 新ビジョン・ミッション・バリュー

エファジャパンは、自治労が結成 40 周年を記念し、社会貢献事業として取り組んだ「アジア子どもの家」事業を引き継ぎ、子どもたちの未来を拓く教育と福祉サービス支援、そして緊急人道支援活動に取り組みはじめてから 17 年目を迎えようとしています。

2021 年の今年、役員と事務局が一丸となって「中長期計画」の策定に向けた検討と議論を開始しました。その目的は、「エファの中長期的な方向性や具体的に達成すべき目標・成果を見える化させ、それを実現するための戦略的なアプローチを計画化」していくことです。今、そしてこれからの時代に応えられる「変化」を産み出す転換点となることを願っています。



役員の一部と事務局スタッフによるタスクフォース会議を昨年 12 月から 7 回にわたって開催。これまでの事業価値を振り返り、再整理して、議論の素案づくりを進めています。また、全役職員による全体ワークショップも 2 回開催し、エファの理想的な未来像を模造紙に描き落しながら、言語化できていなかった「実現したい社会（ビジョン）や目標」のイメージを共有し合い、ビジョンを実現させていくための長期目標（10 年後以降）、中期目標（5 年後以降）について意見を重ねることができました。

引き続き議論を継続し、2021 年の秋には「エファ中長期計画（2022 > 2026）」を皆さまにもお伝えできるよう努めてまいりたいと思います。中長期計画づくりの過程において、エファジャパンは新たな「ビジョン・ミッション・バリュー」を策定することに致しましたので、皆さまにもこの場をお借りして表明させていただきます。

エファジャパン

事務局長 関尚士

【実現したい社会（ビジョン）】

すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し、自分ものがたりを描ける社会に。

【使命（ミッション）】

- ▶ どんな困難な状況にあっても、未来を拓きたいと願うアジアの子どもたちに、教育を通じて生きる力を培います。
- ▶ アジアの開発途上国の障害がある子どもたちが、安心して生きられる環境を家族やコミュニティと共に創ります。
- ▶ さまざまな価値観と文化に触れ、多様性を豊かさとして捉え、アジアの子どもたちが共に生きることのできる社会づくりに、地域の人々と取り組みます。

【エファジャパンの行動指針（バリュー）】

- ▶ 一人ひとりの違いを認め合い、尊びます。
- ▶ つつみこみ、みまもり、みとめあう家族、コミュニティの力を支えます。
- ▶ 選択肢という可能性を生みだし、広げます。
- ▶ 最適な“情報”“居場所”を届けるために、より良い手段を考え抜きます。
- ▶ 自らが変わろうとする意志と行動を応援します。
- ▶ 共に歩み、学び、成長します。



会計資料

2020 年度決算

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

〔税込〕（単位：円）
2021年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		未 払 金	304,868
商品券	1,500	前 受 金	1,026,000
現 金	368,589	預 り 金	119,670
一般会計	(196,015)	雇用保険	(41,417)
収益事業	(172,574)	源泉所得税	(78,253)
普通 預金	30,985,853	未払法人税等	70,000
中央労働金庫	(24,007,352)	流動負債 計	1,520,538
三菱UFJ	(6,172,189)	【固定負債】	
ラオス外貨預金	(12,579)	退職給付引当金	832,200
三菱UFJ（収益）	(793,732)	固定負債 計	832,200
三菱UFJ銀行2	(1)	負債合計	2,352,738
郵便振替口座	1,441,520	正 味 財 産 の 部	
定期 預金	1,420,100	【一般正味財産】	
現金・預金 計	34,217,562	前期繰越正味財産額	32,289,852
（売上債権）		当期正味財産増減額	2,373,194
未 収 金	605,259	【一般正味財産】 合計	34,663,046
売上債権 計	605,259	正味財産合計	34,663,046
（棚卸資産）			
棚卸 資産	132,981		
棚卸資産 計	132,981		
（その他流動資産）			
前払 費用	396,000		
仮 払 金	223,982		
その他流動資産 計	619,982		
流動資産合計	35,575,784		
【固定資産】			
（投資その他の資産）			
数 金	1,440,000		
投資その他の資産 計	1,440,000		
固定資産合計	1,440,000		
資産合計	37,015,784	負債及び正味財産合計	37,015,784

活 動 計 算 書

特定非営利活動法人エファジャパン

〔税込〕（単位：円）
自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	1,392,000	
シニア会員受取会費	324,000	
賛助会員受取会費	310,000	
団体賛助会員受取会費	1,550,000	3,576,000

【受取寄付金】

受取寄付金	40,640,919	40,640,919
-------	------------	------------

【受取助成金等】

受取助成金	900,000	900,000
-------	---------	---------

【事業収益】

エファグ ヲズ・カンボジア	8,900	
エファグ ヲズ・ラオス	22,300	
エファグ ヲズ・国内	462,000	493,200

【その他収益】

受取利息	223,104	
雑収入	1,030	224,134

経常収益 計

45,834,253

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人エファジャパン

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	8,784,731	
通 勤 費(事業)	274,412	
法定福利費(事業)	1,491,328	
福利厚生費(事業)	80,391	
人件費計	10,630,862	
賞与(事業)	816,844	
(その他経費)		
売上 原価	327,540	
リース料 (事業)	136,080	
業務委託費 (事業)	3,350,381	
印刷製本費(事業)	477,089	
会 議 費(事業)	41,816	
新聞図書費 (事業)	1,733,135	
旅費交通費(事業)	143,384	
車 両 費(事業)	9,237	
通信運搬費(事業)	395,681	
消耗品 費(事業)	545,744	
修 繕 費(事業)	25,789	
水道光熱費(事業)	285,040	
地代家賃(事業)	2,404,212	
保 険 料(事業)	5,901	
研 修 費 (事業)	42,287	
支払手数料(事業)	149,614	
支払助成金	6,912,301	
支払寄付金	558,066	
その他経費計	17,543,297	
収益事業費	26,466	
事業費 計		29,017,469
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	8,463,639	
賞与	899,512	
退 職 金	1,600	
旅費交通費	195,819	
法定福利費	1,366,154	
福利厚生費	38,899	
人件費計	10,965,623	
(その他経費)		
印刷製本費	226,387	
会 議 費	13,562	
旅費交通費	20,456	
通信運搬費	389,960	
消耗品費	394,964	
水道光熱費	115,185	
地代 家賃	990,000	
広告宣伝費	287,954	
理事会・総会運営費	15,780	
新聞図書費	2,090	
保 険 料	14,600	
諸 会 費	83,200	
研修費	25,220	
業務委託費	230,675	
リース 料	58,320	
租税 公課	600	
支払手数料	230,452	
雑 費	10,000	
その他経費計	3,109,405	
管理費 計		14,075,028
経常費用 計		43,092,497
当期経常増減額		2,741,756
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
雑損失	24,726	
為替差損	273,807	
経常外費用 計		298,533
税引前当期正味財産増減額		2,443,223
法人税、住民税及び事業税		70,029
当期正味財産増減額		2,373,194
前期繰越正味財産額		32,289,852
次期繰越正味財産額		34,663,046

2020年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人エフアジヤパン

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日策定 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は法定評価方法によっています。

(2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金:

職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末法人都合要支給額により計上しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	定款第5条第1項に係る事業 (A)			定款第5条第2 項に係る事業 (B)	定款第5条第3項 に係る事業 (C)		事業部門計 (A)+(B)+(C) =(D)	管理部門 (E)	合計 (D+E)
	ベトナム事業	カンボジア事業	ラオス事業	緊急支援	国内事業	収益事業			
I. 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	3,576,000	3,576,000
2. 受取寄付金	0	4,119,455	3,786,571	0	0	0	7,906,026	32,734,893	40,640,919
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0	1,900,000	1,900,000
4. 事業収益	0	0	0	0	0	493,200	493,200	0	493,200
5. その他収益	0	222,705	0	0	0	6	222,711	1,423	224,134
経常収益 計	0	4,342,160	3,786,571	0	0	493,206	8,621,937	38,212,316	46,834,253
II. 経常費用									
1. 人件費									
給料手当	565,961	1,641,996	2,885,055	0	4,195,378	313,185	9,601,575	9,363,151	18,964,726
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	1,600	1,600
旅費交通費(通勤費)	23,441	61,276	61,276	0	109,608	18,811	274,412	195,819	470,231
法定福利費	113,942	309,495	334,043	0	628,817	105,031	1,491,328	1,366,154	2,857,482
福利厚生費	0	0	80,391	0	0	0	80,391	38,899	119,290
人件費 計	703,344	2,012,767	3,360,765	0	4,933,803	437,027	11,447,706	10,965,623	22,413,329
2. その他経費									
仕入高(売上原価)	0	0	0	0	0	327,540	327,540	0	327,540
グッズ諸経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費	118,280	3,209,827	0	0	22,274	0	3,350,381	230,675	3,581,056
支払助成金	0	6,683,037	229,264	0	0	0	6,912,301	0	6,912,301
印刷製本費	0	3,010	0	0	474,079	0	477,089	226,387	703,476
会議費	0	0	31,816	0	10,000	0	41,816	13,562	55,378
旅費交通費	0	0	134,760	0	8,624	0	143,384	20,456	163,840
新聞図書費	0	0	1,733,135	0	0	0	1,733,135	2,090	1,735,225
車両費	0	0	9,237	0	0	0	9,237	0	9,237
通信運搬費	0	72,528	57,390	0	265,763	25,586	421,267	389,960	811,227
消耗品費	0	1,476	515,492	0	28,776	0	545,744	394,964	940,708
水道光熱費	13,438	86,005	102,280	0	69,879	13,438	285,040	115,185	400,225
地代家賃	115,500	739,200	833,412	0	600,600	115,500	2,404,212	990,000	3,394,212
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	287,954	287,954
理事会総会運営費	0	0	0	0	0	0	0	15,780	15,780
保険料	0	0	5,901	0	0	0	5,901	14,600	20,501
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	83,200	83,200
支払寄付金	0	0	558,066	0	0	0	558,066	0	558,066
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	42,287	0	0	0	42,287	25,220	67,507
リース料	6,804	43,546	43,546	0	35,380	6,804	136,080	58,320	194,400
修繕費	0	0	25,789	0	0	0	25,789	0	25,789
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	600	600
支払手数料	32,790	73,281	43,543	0	0	880	150,494	230,452	380,946
雑費	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
その他経費 計	286,812	10,911,910	4,365,918	0	1,515,375	489,748	17,569,763	3,109,405	20,679,168
経常費用 計	990,156	12,924,677	7,726,683	0	6,449,178	926,775	29,017,469	14,075,028	43,092,497
当期経常増減額	△ 990,156	△ 8,582,517	△ 3,940,112	0	△ 6,449,178	△ 433,569	△ 20,395,532	24,137,288	3,741,756

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

複数年度にわたり使途等が制約された寄付金等の内訳は以下のとおりです。

当法人の正味財産は34,663,046円ですが、そのうち1,594,560円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は33,068,486円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
●ラオス					
自治労新潟県本部 タートン村小学校図書館支援 (支援期間:2018年11月～2021年10月)	50,000	50,000	50,024	49,976	
自治労東海地区連絡協議会 ビエンチャン都立図書館・多目的ホール運営管理費支援 (支援期間:2018年11月～2021年10月)	177,624	280,000	257,655	199,969	
自治労東海地区連絡協議会 ナーハンケー村小学校図書室支援 (支援期間:2018年11月～2021年10月)	100,000	100,000	100,489	99,511	
自治労青森県本部 ドンクワイ村小学校図書館支援 (支援期間:2019年1月～2021年12月)	40,000	30,000	38,663	31,337	
自治労三重県本部 サンバンナ村小学校図書館支援 (支援期間:2019年9月～2021年8月)	50,000	50,000	47,697	52,303	
故・森田様寄付金 学校図書館設置支援 (支援期間:2016年度～2020年度)	254,221	-	296,492	-42,271	
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間:2020年1月～2024年12月)	-33,266	2,645,476	1,758,711	853,499	
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間:2020年1月～2024年12月)自治労本部(調整費)	-	529,095	105,819	423,276	
●カンボジア					
岡山県関係職員労働組合連合 プレアビビア奨学金基金事業 (支援期間:2016年12月から奨学金基金清算まで)	4,431,558	-	4,431,558	-	
自治労岡山県本部 プレアビビア児童保護施設支援 (支援期間:2018年10月から2021年9月)	-	100,000	169,975	-69,975	
自治労福岡県本部 SCADPブノンベン児童保護施設支援 (支援期間:2019年7月から2021年6月)	5,041	300,000	308,106	-3,065	
合計	5,075,178	4,084,571	7,565,189	1,594,560	

4. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 事業費と管理費の按分方法

- ・共通する経費のうち、給料手当、賞与手当、法定福利費、旅費交通費(人件費分)については、従事割合に基づき按分しています。
- ・共通する経費のうち、地代家賃、水道光熱費、リース料については、総額の30%を管理費に計上、70%を事業費(ベトナム、ラオス、カンボジア、国内、収益の各事業分に従事割合で按分)に計上しています。

財 産 目 録

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位:円)
2021年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

商品券

1,500

現 金

368,589

一般会計

(196,015)

収益事業

(172,574)

普通 預金

30,985,853

中央労働金庫

(24,007,352)

三菱UFJ

(6,172,189)

ラオス外貨預金

(12,579)

三菱UFJ (収益)

(793,732)

三菱UFJ銀行2

(1)

郵便振替口座

1,441,520

定期 預金

1,420,100

現金・預金 計

34,217,562

(売上債権)

未 収 金

605,259

売上債権 計

605,259

(棚卸資産)

棚卸 資産

132,981

棚卸資産 計

132,981

(その他流動資産)

前払 費用

396,000

仮 払 金

223,982

その他流動資産 計

619,982

流動資産合計

35,575,784

【固定資産】

(投資その他の資産)

敷 金

1,440,000

投資その他の資産 計

1,440,000

固定資産合計

1,440,000

資産の部 合計

37,015,784

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

304,868

前 受 金

1,026,000

預 り 金

119,670

雇用保険

(41,417)

源泉所得税

(78,253)

未払法人税等

70,000

流動負債 計

1,520,538

【固定負債】

退職給付引当金

832,200

固定負債 計

832,200

負債の部 合計

2,352,738

正味財産

34,663,046

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 エファジャパン

理事長 伊藤 道雄 様

2021年 6月 / 日

特定非営利活動法人 エファジャパン

監 事

榎本 朋子



監 事

宮原 朝香



2021 年度予算

特定非営利活動法人エファジャパン

自 2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位：円)

科目	2021年度予算額		2020年度決算
【収入の部】			
会費		3,502,000	3,576,000
正会員受取会費	1,392,000		1,392,000
シニア会員受取会費	300,000		324,000
賛助会員受取会費	310,000		310,000
団体賛助会員受取会費	1,500,000		1,550,000
寄付金		41,057,926	40,640,919
エファパートナー（個人）	250,000		284,000
エファパートナー（団体）	620,000		1,080,000
ベトナム事業	0		0
ラオス事業	1,035,146		3,786,571
カンボジア事業	1,315,500		4,120,590
一般寄付（無指定）	37,837,280		31,369,758
助成金等		3,400,000	900,000
助成金	3,400,000		900,000
普及啓発事業（収益事業）		805,000	493,200
エファグッズベトナム	0		0
エファグッズラオス	30,000		22,300
エファグッズカンボジア	25,000		8,900
ベトナム布袋	0		0
エファグッズ国内	750,000		462,000
その他収入		0	224,134
受取利息	0		223,104
雑収入	0		1,030
収入合計		48,764,926	45,834,253

特定非営利活動法人エファジャパン

自 2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位：円)

科目	2021年度予算額		2020年度決算
【支出の部】			
事業費			
海外事業		11,529,959	15,039,394
ベトナム	824,367		151,070
ラオス	5,421,089		4,845,165
カンボジア	5,284,504		10,043,159
緊急支援			0
国内事業		4,572,968	809,516
収益事業		767,400	354,006
事業費合計		16,870,327	16,202,916
管理費			
(人件費)		23,802,279	21,065,331
給料手当	17,017,440		16,096,967
賞与	2,219,350		1,624,700
退職給付費用	900,700		1,600
旅費交通費(通勤費)	517,758		470,231
法定福利費	3,029,031		2,832,934
福利厚生費	118,000		38,899
(その他経費)		6,721,980	5,824,250
研修費	12,000		25,220
新聞図書費	20,000		2,090
印刷製本費	150,000		226,387
会議費	42,000		13,562
交際費	20,000		0
旅費交通費	74,000		20,456
通信運搬費	354,800		389,960
消耗品費	190,500		394,964
備品費	170,000		0
水道光熱費	410,160		383,950
地代家賃	3,300,000		3,300,000
理事会総会費用	157,000		15,780
広告宣伝費	6,000		287,954
保険料	18,500		14,600
諸会費	83,200		83,200
業務委託費	1,160,000		230,675
リース料	194,400		194,400
租税公課	3,000		600
支払手数料	341,420		230,452
雑費	15,000		10,000
賃借料	0		0
管理費費合計		30,524,259	26,889,581
支出合計		47,464,586	43,461,059
収支差額		1,300,340	2,373,194

特定非営利活動法人エファジャパン 2020 年度年次報告書

発行 特定非営利活動法人エファジャパン 発行日 2021 年 8 月 24 日

〒 102-0074 東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3 階

TEL 03-3263-0337 FAX 03-3263-0338 E-mail info@efa-japan.org

<http://www.efa-japan.org>



すべての人々に、^{ちから}力を。